



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

クウェイト・イラク：クウェイト国境標識設置隊とイラク住民の衝突  
(12日付クウェイト各紙)

12日付のクウェイト各紙は、国連監視下でイラク国境標識設置作業を行っていたクウェイトの作業隊に対し、同地域のイラク農民が発砲し、武力衝突が発生したことを報じた。

1. 11日朝、イラクとの国境において標識を設置していたクウェイトの作業チームに対し、約400人のイラク農民がデモを実施した。国連監督下で実施されている国境標識の修復作業中、クウェイトの作業チームはイラク側から発砲を受け、事態は、国境を挟んでの武力衝突に発展した。情報筋によれば、トラブルは、何名からのイラク人によるクウェイトの治安関係者に対する投石から始まり、続いて、イラク側からの発砲があった。その後、イラク治安部隊が現場に到着し、事態は収束した。
2. 同衝突におけるけが人はなく、イラク治安当局はデモ参加者を逮捕し、国境地帯における治安当局のプレゼンスを強化すべく捜査に乗り出した。一方、クウェイト内務省のムハンマド・ユースフ国境担当次官補は、北部国境にて勤務する警察官に対し、特別警戒態勢を敷くよう指示した。
3. クウェイトのジャーラッラー外務次官は、国連および駐クウェイト・イラク大使に、イラク人による国境標識設置作業に対する妨害行為への遺憾の意を表明する書簡を発出し、記者に対して、イラク政府が本件に対し真剣に対応することと、作業チームが既に決まっているスケジュール、つまり、今月末までに国境メンテナンス作業を終えられるように対処することを信じている、と述べた。